

オンラインゲームをきっかけとする 犯罪被害にあわないためには

警察庁

令和7年3月



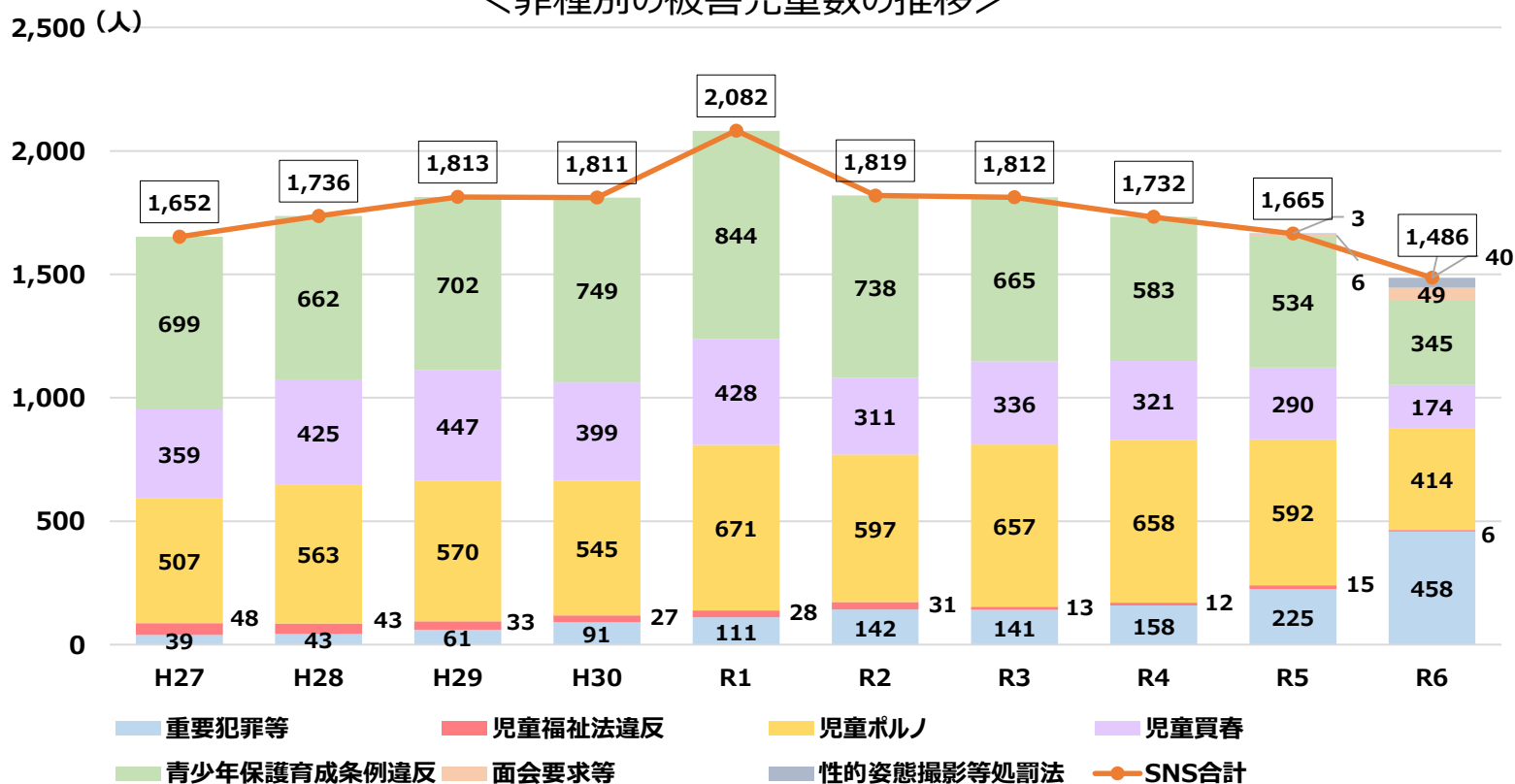
①はじめに

SNSをきっかけとする児童の犯罪被害の実態

SNSをきっかけとして、児童が性犯罪等に巻き込まれる事件が多く発生しています。SNSやオンラインゲームは楽しくて便利なツールですが、危険もひそんでいることを理解しましょう。



＜罪種別の被害児童数の推移＞



(資料) 警察庁生活安全局少年課 (令和7年)「令和6年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成

みなさん自身が性犯罪被害にあわないようにするためにどうしたら良いのか？
一緒に考えてみましょう！



ゲーム内の同盟メンバーは信頼できる人？

●ケース 男子高校生Aさんの場合

男子高校生のAさんは、オンラインのバトルロイヤルゲームに夢中になっています。

Aさんは、ランダムマッチングで出会ったBさんから「一緒の同盟に参加しないか」と誘われました。Aさんは、Bさんとは良い連携プレイが取れたので、もっと一緒にプレイしたいと思いすぐに同盟に参加しました。

同盟のメンバーはみんなゲームが強く、どうしたら追いつけるかたずねてみると、課金アイテムを利用すると良いとアドバイスをもらいました。ただ、Aさんはアルバイトが禁止されていてお金が足りません。

すると、同じ同盟にいるCさんから、「簡単にお金が稼げるバイトを紹介できるよ」というメッセージが届きました。Aさんが興味を示したところ、Cさんから別のチャットアプリに移行するよう誘導され、駅前で受け取った荷物を運ぶように指示されました。Aさんはなんだか怖くなって断ろうと思いましたが、「断るなら個人情報ネット上に晒す」と言われ、引き受けました。

結果として、運び屋として違法薬物の売買に加担するはめになってしまいました。“お金が稼げるバイト”とは闇バイトだったのです。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？



②考えてみよう

ゲーム内の同盟メンバーは信頼できる人？

●みんなで考えるときのヒント

ゲームで意気投合した＝信頼できる仲間？

同盟の全メンバーを信頼できる？

課金は本当に必要？

高校生でも簡単にお金を稼げるバイトってあるの？

②考えてみよう

ゲーム内の同盟メンバーは信頼できる人？

●Aさんの被害につながったポイント／被害にあわないためにはどうしたら良いの？



★ 同盟への参加は一息置いて考えよう

Aさんは、Bさんからの同盟加入の誘いにすぐOKしていました

- ⇒ ゲームで意気投合できたからといって、Bさんをすぐに信頼するのは危ないかも。同盟参加者のプロフィールを確認したり、危ない会話がないか確認しましょう。もしも違和感があるようだったら同盟から抜けることも考えましょう。

★ 課金をしなくても楽しめる方法を考えよう

Aさんは同盟メンバーに追いつきたくて課金をしなければならぬと思いこんでしまいました。

- ⇒ 課金は自分のおこづかいでできる範囲にとどめましょう。ゲームによっては課金に年齢制限があったり、保護者の同意が必要だったりする場合があります。保護者とよく話し合ってから課金をしましょう。

★ 闇バイトに注意しよう

Aさんは、簡単にお金が稼げるという話に食いついて、犯罪行為に加担させられてしまいました。

- ⇒ “ホワイト案件” “高額報酬・即日入金”など、闇バイトをほのめかす言葉を使っていなくても闇バイトの可能性があります。1日だけでたくさん稼げる甘い話はワナかもしれません。

同盟でチャットをしたり一緒にプレイをしたりしていると、仲間意識が芽生えてくるかもしれません。その仲間意識や信頼感を悪用してあなたを闇バイトの世界に引きずり込もうとする人もいます。安易に個人情報や渡さない・アルバイト案件に興味を示さないことが大事です。

画面の向こうにいるのは本当に同年代の「Eさん」かな？

●ケース 女子小学生Dさんの場合

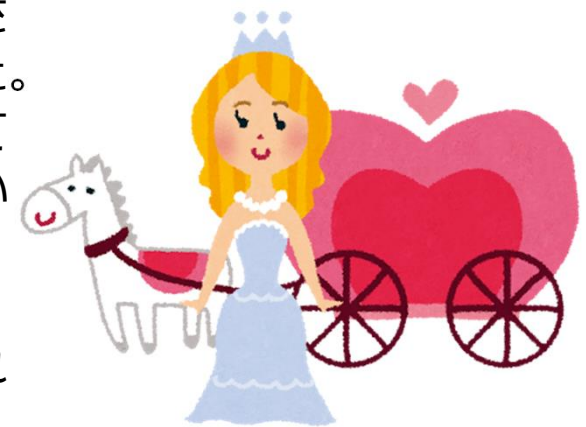
女子小学生のDさんは、自分のアバターを育てるオンラインゲームを利用しています。

交流広場でチャットを楽しんでいると、とてもかわいいアバターを使っているEさんと知り合い、仲良くなりました。いつか、Eさんからはいつも仲良くしてくれるお礼として、有料のアイテムプレゼントが届くようになりました。小学生で課金ができないDさんは嬉しく思い、Eさんともっと仲を深めたいと思うようになり、他のSNSのIDを交換して日常的な会話や写真のやりとりもするようになりました。

ある日、Eさんから身体の悩みがあると打ち明けられ、「同年代のDさんの身体と比べたいから下着姿の写真を送ってほしい」と頼まれました。

Dさんが恥ずかしくて送るのをためらっていると、「いつもプレゼントして助けてあげているのにそっちは助けてくれないんだね」と非難され、負い目を感じたDさんは自撮り写真を送ってしまいました。

すると、その日を境にEさんからより過激な写真を送ることを要求されるようになり、Dさんは何枚もはだかの写真を送ってしまいました。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？



②考えてみよう

画面の向こうにいるのは本当に同年代の「Eさん」人かな？

●みんなで考えるときのヒント

Eさんはどんな人かな？？

オンラインゲームからチャットに移行しても良いかな？？

一方的に贈られたプレゼント、お礼やお返して必要？？

Eさんに下着姿の写真を送って大丈夫？？

②考えてみよう

画面の向こうにいるのは本当に同年代の「Eさん」かな？

● Dさんの被害につながったポイント／被害にあわないためにはどうしたら良いの？

★ プレゼントを受け取らない設定にしてみよう

DさんはEさんから有料のプレゼントをもらっていた負い目と、嫌われたくないという気持ちからEさんの言いなりになってしまいました。

⇒ 一方的に有料のプレゼントが贈られてきても、あなたがその対価として自撮り写真を送る必要は全くありません。とはいえやっぱり負い目は感じてしまうもの。誰からもプレゼントを受け取らない設定にできる機能もうまく活用してみましょう。

★ 見ず知らずの人にSNSのIDを教えたり、自撮り写真を送ったりするのはやめよう

DさんとEさんは、やりとりの場をオンラインゲームから他のSNSに移行し、日常的に写真を送りあうような関係になっていました。

⇒ DさんはEさんとのやりとりを別のSNSに移行したことによって、より深い会話ができるようになり、さらなる安心感をいだいてしまったかも。
オンラインゲームではSNSのID交換が禁止されている場合もあります。ルールと自分自身の安全を守りましょう。

★ 「相手の情報はうそかも？」とうたがってみよう

DさんはEさんを同じゲームが好きな同年代の女の子だと思ってしまいました。

⇒ 相手はあなたの気を引いたり安心させたりしたくて、わざとうそをついて、あなたと共通点を持っているかのように装っているかも。
特にとく名性の高いオンラインゲームでは、情報の信ぴょう性に注意が必要です。



**一方的に有料のプレゼントを受け取り続けていると、相手への負い目・嫌われたくないという気持ちが大きくなり、おかしいな？と思う要求にも従ってしまうことがあります。
プレゼントを受け取らない設定にする・他のSNSに移行しない・おかしい要求はのまずに相談や通報をすることが大事です。**

あこがれのあの人は本当に“良い人”かな！？

●ケース 女子中学生Fさんの場合

女子中学生のFさんは、学校で流行っている対戦ゲームが気になってダウンロードしてみました。ゲームをすれば友だちの輪に入れるかなと思ったのですが、なかなか上達しないのであまり誘ってもらえず孤立しているような気持ちになっています。

うまくなりたいと思って他のユーザーのプレイ動画を見ていると、男子高校生のGさんが目に留まりました。Gさんは声もかっこよく、プレイも上手なので仲良くなりたいと思ったFさんは、Gさんに個別メッセージを送り、上達方法を相談してみたところ、すぐに返事が返ってきました。その後もGさんはいつもやさしく教えてくれて、ボイスチャットをつなぎながら一緒にプレイするように仲になりました。

次第に、FさんはGさんにあこがれと信頼の気持ちを持つようになり、学校や家族の悩みも相談するようになっていました。

ある日、とてもつらいことがあってGさんに相談したところ、「直接会って話を聞くよ」と言われ、近所のカラオケ屋で会うことになりました。約束の当日、Fさんが指定された部屋に入ったところ、そこで待っていたのは高校生ではなく40代の男でした。

Fさんが逃げようと思ったときにはもう遅く、Fさんはわいせつな行為を受けてしまいました。



どうすればこんなことにならなかったのでしょうか？



②考えてみよう

あこがれのあの人は本当に“良い人”かな！？

●みんなで考えるときのヒント

ボイスチャットだけで相手の年齢を判断できる？？

相談にのってくれるのは本当に良い人？？

ゲームで知り合った人に会いに行っても大丈夫？？

②考えてみよう

あこがれのあの人は本当に“良い人”かな！？

●Fさんの被害につながったポイント／被害にあわないためにはどうしたら良いの？



★見ず知らずの人に個別メッセージを送らないようにしましょう

Fさんは、Gさんのプレイ動画に興味を持って、自ら個別メッセージを送信していました。

- ⇒ プレイ動画がかっこよくても画面の向こうにいるのがどんな人かは分かりません。見ず知らずの人と関係性を深めるきっかけを自ら作るのはやめましょう。

★ ボイスチャットの使い方に気を付けよう

FさんはボイスチャットでGさんが高校生だと判断してしまいました。

- ⇒ 声を聞けば相手の年代が分かると思ったら大間違い。最近はボイスチェンジャーで声を変えることも簡単です。ボイスチャットの情報だけで安易に相手の属性を判断しないようにしましょう。
- ⇒ ボイスチャットで生活音やあなたの個人情報をもれないようにすることも忘れずに。

★ 「グルーミング」に気を付けよう

Fさんはゲームがうまくて優しいGさんにあこがれて信頼しきってしまいました。

- ⇒ あなたの不安や「人にみとめられたい」という気持ちにつけこむ人がいるかも。これは「グルーミング」といい、相手との関係性をコントロールして、自分の性的欲求を満たすことにつなげようとする行為です。やさしい言葉をかけてくれるからといって心を開いてしまうと、つけ入るスキを与えてしまう可能性があります。

いくら親身に話を聞いてくれたとしても、あなたと同年代の“良い人”とは限りません。
やりとりをする中で「いつもやさしい言葉をかけてくれる特別な人」と思うようになったとしても
おかしい要求や言動がみられた場合は返信をせず、先生やおうちの人に相談しましょう。
また、そもそも見ず知らずの人とは1対1のやりとりができないように設定することも大切です。

オンラインゲームを使うときに気を付けるポイント



オンラインゲームを使った性犯罪の被害にあわないようにするために大切なポイントは以下の3つです。

- ✓ 課金を肩代わりしてくれる話に安易に飛びつかない
- ✓ 見ず知らずの人と個別にメッセージのやりとりや通話をしない
- ✓ 「良い人」と思える人であっても信用しすぎない

おかしいと思うことがあったら、先生やおうちの人に相談することが大切です。
また、オンラインゲームにはみなさんを守る機能があります。
上手に設定して、安全に楽しくオンラインゲームを利用しましょう。

■ メッセージなどの受信範囲の設定

→悪いことを考えている見ず知らずの人があなたに近づきにくくなります

■ ブロック・通報

→あやしい人や他のSNSに無理に移行しようとする人をSNSの運営に知らせ
これ以上あなたと連絡がとれないようにすることができます

